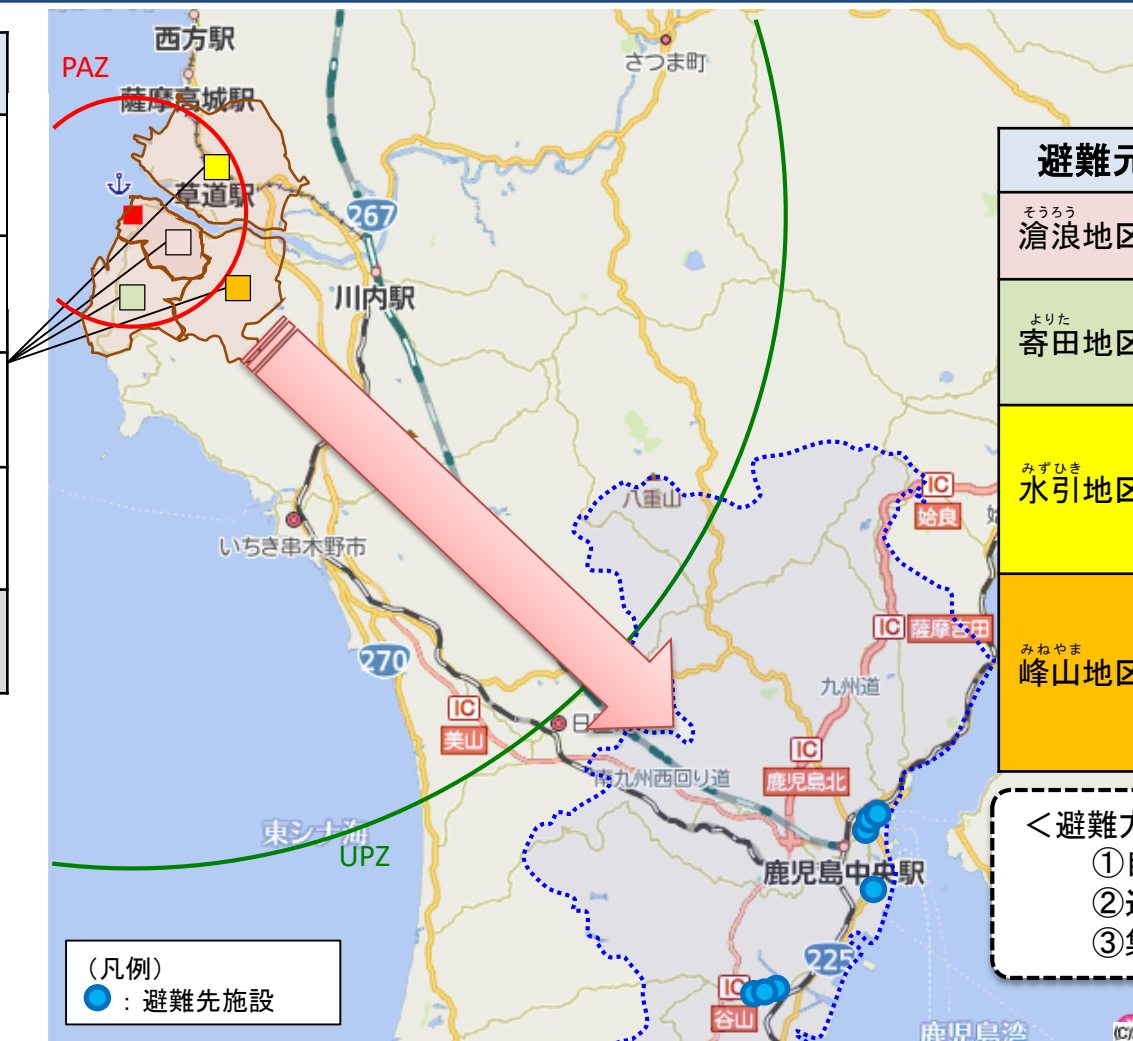


PAZ内の住民数及び避難先

- 薩摩川内市の4地区（さつませんだいし 滄浪地区、そうろう 寄田地区、よりた 水引地区、みずひき 峰山地区）住民の避難先については、かごしまし 鹿児島市内の7施設に避難先を確保。
- 4地区における避難先については、普段から避難計画に関する住民説明会や訓練等を通じて住民に周知。

PAZ内人口	
<small>そうろう</small> 滄浪地区	374人
<small>よりた</small> 寄田地区	237人
<small>みずひき</small> 水引地区	2,376人
<small>みねやま</small> 峰山地区	1,195人
合計	4,182人

※ 令和2年4月1日現在



(凡例)
● : 避難先施設

鹿児島市

避難元	避難先
<small>そうろう</small> 滄浪地区	・総合体育センター武道館
<small>よりた</small> 寄田地区	・ <small>かごしまけん</small> 鹿児島県文化センター （ <small>ほうざん</small> 宝山ホール）
<small>みずひき</small> 水引地区	・ <small>かごしまけん</small> 鹿児島県文化センター （ <small>ほうざん</small> 宝山ホール） ・ <small>かごしまけん</small> 鹿児島県民交流センター ・県立図書館本館
<small>みねやま</small> 峰山地区	・ <small>かごしま</small> 鹿児島盲学校体育館 ・開陽高等学校体育館 ・ <small>かごしま</small> 鹿児島南高等学校体育館

- <避難方法>
- ① 自家用車
 - ② 近所の方の自家用車に同乗
 - ③ 集合場所からバス等

自家用車で避難できない住民の数

- 薩摩川内市の4地区(滄浪、寄田、水引、峰山)を対象とした市による戸別訪問調査の結果、自家用車で避難できない住民は全4,182人のうち約750人。
- 自家用車で避難できない住民は、徒歩等でバス避難集合場所に集まり、鹿児島県等が配車した車両で、避難所へ避難。

自家用車で避難できない住民の集合場所



- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民745人分、バス25台。
- 鹿児島県は、「災害時等におけるバスによる緊急輸送等に関する協定」※1に基づき、県内のバス会社から必要となる輸送手段を確保。
- 車両及び運転者については、「災害時等におけるバスによる緊急輸送等に関する協定」により、更に余裕を持った台数・人数を確保。

※1 鹿児島県と公益社団法人鹿児島県バス協会（協力事業者33社）が、平成27年6月26日に締結

＜全面緊急事態で必要となる輸送能力＞

	想定対象人数※2	想定必要バス数	備考
自家用車で避難ができない住民	745人	25台	・1台のバスが複数箇所をまわるため、1台当り30人程度の乗車を想定

※2 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

＜全面緊急事態での輸送能力の確保＞

	確保車両台数	備考
	バス	
(A)必要車両台数	25台	
(B)車両確保台数	合計25台	
九州電力が配備する車両(B1)	7台	保有車両台数 ・バスは、地元バス会社所有 ・施設敷地緊急事態要避難者の避難時に使用した車両を再利用することを想定
鹿児島県(協定に基づき調達) (B)－(B1)	18台	保有車両台数 バス:約1,600台

※ 不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合など、関係自治体の要請により実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)が必要に応じ支援を実施